

「総合的な学習の時間」で自衛隊を理解



結索体験



防火衣試着

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎 1 陸尉）は、1 月 15 日（木）、海上自衛隊 横須賀地方総監部で行われた今宿中学校（1 学年 19 名）の「総合的な学習の時間」を支援した。横須賀基地の概要説明を受けた後、260t 型 曳船（タグボート）で、横須賀基地周辺をクルージングした。港内には多くの護衛艦や潜水艦、また、米海軍の空母も停泊しており、その大きさと種類の多さに驚いていた。体験喫食後、補給艦「ときわ」の見学と、海上自衛隊に不可欠な結索や火災時に装着する防火衣と OBA（非常用呼吸器）の試着が行われ、生徒達は海上自衛隊の一端を理解し、「総合的な学習の時間」を終了した。横浜中央募集案内所は、「今後も、より多くの生徒に自衛隊を知ってもらい、自衛官という職業が選択肢のひとつとなるよう積極的に支援していきたい」としている。

海上自衛隊で「総合的な学習の時間」

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎 1 陸尉）は、1 月 15 日（木）及び 16 日（金）の 2 日間、横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校の「総合的な学習の時間」を支援した。

15 日は、横須賀地方総監部においてタグボートの体験航海や補給艦見学、そして手旗の体験が行われた。16 日は、横須賀教育隊において「挙手の敬礼」などの基本教練を体験し、海上自衛隊の「挙手の敬礼」は、艦内の狭い場所で行うため肘を 45 度（陸上自衛隊は 90 度）の角度にするという説明を受けた。この他、結索体験では「ひと結び」、「ふた結び」、「もやい結び」を教わったが、特に、「もやい結び」は解けにくく解きやすいことから「キングオブノット」と言われているという説明が記憶に残ったようだ。引率の先生から、「今後も「総合的な学習の時間」を依頼したい」という申し出もあり実りある時間となった。

横浜中央募集案内所は、「今後も、学校と連携を図り、より多くの生徒が自衛隊に興味を持ってもらえる様、努めていきたい」としている。



結索体験